

鳴海周平の

# ぶらり旅

新潟県・佐渡島編

本州最大の島としても知られる新潟県・佐渡島。日本の原風景が凝縮されていることから「リトル日本列島」とも呼ばれているそうです。

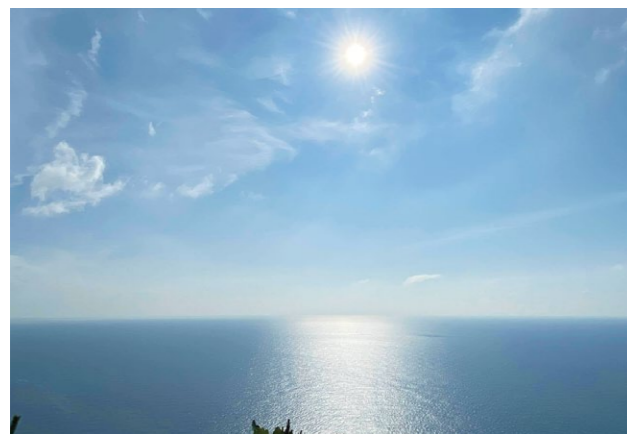
そんな日本のひな型ともいえる佐渡島へ盟友のお二人と旅をしてみました。

ミラクルアーティストで在日宇宙人のはせくらみゆきさん、正観塾師範代でダジャレの達人・高島亮さんとの珍道中。

さし、どーなる？(by高島亮さん)



佐渡島大野亀の登山道にて。  
これから山頂まで過酷な道のりが待っていることを  
このときはまだ知らなかった僕たちなのでした…(笑)



島のあちこちから眺められる「空と海」。まさに、空海さん所縁の地！



新潟まで来て、なぜかクレーンゲームに興じるお二人(笑)  
景品はイルカとヒヨコ。



鶴ヶ峰でのお祈りのあとに大きな鳥のような雲があらわれました。



さて、本物の「トキポスト」はどれでしょう？  
(注！サギがまぎれています)

「みてください！6時ころから探しまわって、ついに、そのトキがきたんです!!発見したトキは、もう、トキトキしましたよ」  
朝から絶口調の亮さんでしたが、3時間後に「これは、サギですね」と断定されようとは、このトキまだ誰も思っていなかったのです(笑)

この日は島の南端にある「鶴ヶ峰」へ。  
「鶴亀あるところに空海あり」と云われるように、佐渡島は空海さん所縁の地。北と南にそれぞれ「亀」と「鶴」があるのも、そういうことなのでしょう。  
空海さんが投げ上げた三杵が飛来した場所であり、真言宗・

三大聖地の一つ小比叡山・蓮華峰寺がある佐渡島は、目にみえない世界からみても「日本のひな型」なのかもしれません。  
島の両端でお祈りを捧げさせてもらった後、鶴ヶ峰の上空にあらわれた大きな鳥のような雲をみながら「鶴かなー、鳳凰かなー」と推測するみゆきさんと僕の隣で「トキかなー、サギかなー」と、しきりに気にする亮さんなのです(笑)



佐渡島名物のパッケージはほぼトキ柄(笑)



入り組んだ断崖や奇岩が点在する尖閣湾は「日本の渚百選」にも選ばれた景勝地。



日本三大巨石のひとつ大野亀。山頂からの眺望も素晴らしい!すぐ近くには二つ亀があります。

新潟港からジェットフォイルで約1時間。佐渡島両津港へ到着した僕たちは「これから、さーどーする?」という、期待を裏切らない亮さんのひと言で旅をスタートさせました。  
まずは島の北端にある二つ亀と大野亀という「亀」の場へと向かいます。  
ふだんは、ぼぼ登ることのない山頂へ登ってみることにした僕たちは、暑さと慣れない山道に挫けそうになるたびに「ボク、暑いのが好きなんです。なぜか、ホットするんです」とか「山頂の祠まで辿り着けたら、ほこらしいですよ」という、幻聴のようない言葉に励まされながら(笑)無事、頂で参拝することができたのでした。  
一夜明けて、早朝から稀少な県島のトキを探していた亮さんが、喜び勇んで動画を見せてくれました。



田んぼトキ…じゃなくてサギ(笑)



佐渡島名物たらい舟。船頭さんともお揃いの帽子で。